

JA 全農ちば 営農情報集

2024 年
12 月



今月の情報

1. 令和 6 年度 水稲生産を振り返って
2. 病害虫防除（園芸）
3. サツマイモポット苗育苗と防除のポイント
4. Z-GIS キャンペーン

今月の気象（気象庁 11/30 発表 1 か月予報より）

期間中の前半は気温の変化が大きくなる見込みのため、施設の温度管理に気をつけましょう。

日照時間は、平年並または多い確率ともに 40% です。平年に比べれば晴れの日が多くなる予報です。

【気温】	40	30	30
【降水量】	40	40	20
【日照時間】	20	40	40
	■:低い	■:平年並み	■:高い

注意とお願い

農薬登録内容は掲載時点の情報です。農薬を使用する際に必ず最新の登録内容をご確認ください。

令和6年度 水稻生産を振り返って

J A全農ちば
営農支援部

1. 令和6年産水稻 千葉県の作柄概況

関東農政局の作柄概況（11月19日公表）によると、令和6年産の作柄は10aあたり収量569kg（作況指数105）となりました（10月25日現在）。

表1. 令和6年産水稻の作柄概況

区 分	作況指数	穂数の多少	平年比較 1穂あたりの もみ数の多少	全もみ数 の多少	登熟の良否
千葉県	105	やや多い	やや多い	やや多い	やや良

*農林水産省関東農政局 農林水産統計より

2. 時期別振り返り

（1）育苗期

3月下旬は気温が低く、出芽不良やカビの発生が見られました。4月の播種では高温によるヤケなども発生しました。育苗期より気候変動が極端化しています。管理もその時々
の気候に合わせた管理を心がけましょう。

（2）移植期から分けつ期

4月は気温が高く推移し、苗丈は長めに生育しました。5月植えは低温かつ降水量も多かったため、茎数がやや少なくなり、一部生育の停滞も見られました。

4月の気温が高かったため、スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）や、藻類、還元障害の発生がみられました。

5月下旬は平年よりも日照時間が少なめでしたが、4月20日植付けの各品種の生育は平年並み～早く、茎数は平年並み～多く推移しました。

（3）幼穂形成期から出穂期

いずれの品種も幼穂形成期が平年より3日程度早まりました。

7月は平年より気温が非常に高く推移し、出穂は平年よりも5～7日程度早くなりました。

3. 6年産米の品質について

成熟期の気温の上昇から収穫は非常に早まりました。「白未熟粒」、「斑点米」による等級落ちが多く、刈り遅れと思われる「茶米」、「胴割」もやや多い状況です。

出穂期前後の日照条件は良好でしたが、出穂後20日間での平均気温が高かったため、稈長が長く生育した圃場も多く、倒伏の影響からコシヒカリや粒すけは特に白未熟が発生したと考えられます。ふさおとめは、斑点米による等級落ちが多く、斑点米カメムシ類の多発および気温上昇に伴う生育・出穂の前進から空散等により適期防除が難しかったと推察されます。

表2. 千葉県における年産毎の農産物検査状況（10月31日現在）

年産	R6年産（10月末現在）		R5年産（10月末現在）		R4年産（10月末現在）	
	検査数量 (t)	1等米比率 (%)	検査数量 (t)	1等米比率 (%)	検査数量 (t)	1等米比率 (%)
うるち玄米全体	160,709	78.5	145,879	87.8	139,890	86.6
ふさおとめ	19,106	87.0	18,250	92.2	18,610	94.9
ふさこがね	52,196	75.8	40,121	89.8	36,286	90.4
コシヒカリ	67,201	79.3	68,935	86.9	68,192	83.1
粒すけ	9,032	77.3	7,533	83.9	6,399	78.5



園芸野菜 病害虫防除情報

1. はじめに

気象庁より12月は冬らしい寒さとなる予報が発表されております。各作物の生育は順調に進むと思われますが、一方で病害も発生しやすい条件となります。

今後、施設栽培においては、夜間の閉め切りによって湿度が高まり、葉かび病・うどんこ病・灰色かび病などの病害が拡大しやすい環境となります。薬剤防除と合わせて、換気や葉かき後の残さ処分など、耕種的な対策も実施しましょう。

2. トマト・ナスー 灰色かび病・うどんこ病

引き続き施設での発生に要注意！

(1) 灰色かび病

灰色かび病は20℃前後の気温と多湿を好みます。夜間、ハウスを閉め切る時期は湿度が高くなりがちです。除湿のために天窓換気、暖房機による早期加温、空運転等を実施するほか、薬剤散布はなるべく午前中に行い、ハウスを閉め切るまでに薬液が乾くようにしましょう。

また、果実に付着した花卉や枯れた葉が残っていると、灰色かび病の発生源になります。同様に、発病した葉や果実を通路に放置せず、必ずハウスの外へ持ち出して処分しましょう。果実に寄生した灰色かび病



(2) うどんこ病

トマトやナスなどのナス科作物のうどんこ病には、表生型と内生型の2種類があります。表生型は植物体の表面に寄生しますが、内生型は葉の内部にも病原菌が広がるため、防除がより困難になります。内生型は主に葉裏の気孔から侵入するため、薬剤散布の際は、葉裏まで薬剤がかかるように丁寧に行いましょう。



葉のうどんこ病の病斑

(3) 薬剤防除 ※希釈倍数は登録のうち最大濃度を示している

● トマト 灰色かび病・うどんこ病 防除薬剤

対象病害	FRAC	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	備考
灰色かび うどんこ	M7	ベルコートフロアブル	2000	収穫前日 まで	3回以内	予防
	7	アフェットフロアブル	2000		3回以内	予防
	9+U13	ショウチノスケフロアブル	2000		2回以内	予防・治療
灰色かび	12	セイビアーフロアブル 20	1000		3回以内	予防
	1+10	ゲッター水和剤	1000		5回以内	予防・治療
うどんこ	3+U6	パンチョ TF 顆粒水和剤	2000		2回以内	予防・治療
	50	クロスアウトフロアブル	3000		2回以内	予防・治療

● ナス 灰色かび病・うどんこ病 防除薬剤

対象病害	FRAC	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	備考
灰色かび うどんこ	M7	ベルコートフロアブル	2000	収穫前日 まで	3回以内	予防
	7	アフェットフロアブル	2000		3回以内	予防
	9+U13	ショウチノスケフロアブル	2000		2回以内	予防・治療
灰色かび	12	セイビアーフロアブル 20	1000		3回以内	予防
	1+10	ゲッター水和剤	1000		5回以内	予防・治療
うどんこ	3+U6	パンチョ TF 顆粒水和剤	2000		2回以内	予防・治療
	50	クロスアウトフロアブル	3000		3回以内	予防・治療

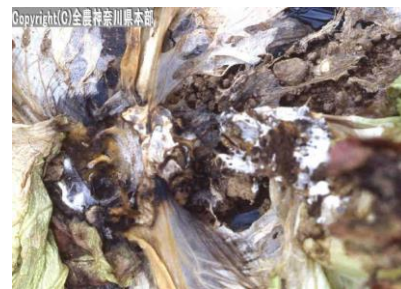
農作業安全管理機による巻き込まれ事故注意！ 転回・バック時は慎重に！

食の安全・安心 農薬散布器具は毎回必ず洗浄！

※ 本資料の無断使用・複写・転載を禁じます JA全農ちば 営農支援部

3. レタス — 灰色かび病・菌核病

レタスの灰色かび病と菌核病は、ともに冬期の霜や凍害で傷んだ下葉から発病し、最終的には結球に腐敗を引き起こす病害です。トンネル栽培では結球期前の防除が重要になります。薬剤散布をする際は、できるだけ株元にも薬剤がかかるようにしましょう。



(1) 灰色かび病

地際に**灰色のカビ**が発生し、のちに結球表面にも進展しますも見られます。乾燥しているときには被害はあまり見られませんが、曇雨天が続く場合には結球内部および表面に急激に被害が進展する病害です。

菌核病の被害株

(2) 菌核病

地際や葉の裏に**綿のような白いカビ**が発生します。湿度が高いと、やがて結球表面にも**黒い菌核**が発生し、被害が進展すると結球が腐敗して枯れてしまいます。

(3) 薬剤防除 ※希釈倍数は登録のうち最大濃度を示している

●レタス 灰色かび病・菌核病 防除薬剤

対象病害	FRAC	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	備考
灰色かび病 ・菌核病	11	アミスター20フロアブル	2000	収穫7日前	4回以内	予防・治療
		メジャーフロアブル	2000	収穫3日前	3回以内	予防・治療
	7+11	シグナムWDG	1500	収穫7日前	2回以内	予防・治療
	1+10	ゲッター水和剤	1500	収穫7日前	2回以内	予防・治療
	2	ロブラール水和剤	1000	収穫14日前	3回以内	予防・治療

4. イチゴ — うどんこ病

(1) うどんこ病

適温は20℃前後で、乾燥と多湿を繰り返すと被害が拡大します。冬場閉め切っているハウスはうどんこ病の好適な環境になるため、多発しやすくなります。ショウチノスケフロアブルやクロスアウトフロアブルのような治療効果を持つ薬剤は発生前～発生初期に使用し、予防剤でうどんこ病が低密度の期間を長く保つことが上手な薬剤の使い方です。



うどんこ病の病斑

(2) 薬剤防除 ※希釈倍数は登録のうち最大濃度を示している

●いちご うどんこ病 防除薬剤※ショウチノスケフロアブル・フルピカフロアブルは合わせて3回以内（共通成分：メパニピリム）

対象病害	FRAC	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	備考
うどんこ病	M7	ベルコートフロアブル	2000	収穫前日	5回以内	予防
	7	アフェットフロアブル	2000	収穫前日	3回以内	予防
	9	フルピカフロアブル※	2000	収穫前日	3回以内	予防
	9+U13	ショウチノスケフロアブル※	2000	収穫前日	2回以内	予防・治療
	50	クロスアウトフロアブル	3000	収穫前日	3回以内	予防・治療
	3+U6	パンチョTF顆粒水和剤	2000	収穫前日	2回以内	予防・治療

5. キャベツ — 黒腐病・菌核病

(1) 黒腐病

葉には葉縁に扇状、中央部では円形・淡黄色の病斑を生じます。その後暗褐色にかわり特に葉脈が黒褐色となり、病斑部は古くなると枯死し、乾燥して破れ易くなります。病原菌は被害植物とともに土中に入り越冬し、翌年、降雨時にはね上って水孔や傷口から侵入し、導管をへて組織内に入ります。種子伝染も行い、発芽後、子葉頂部にある気孔等から侵入しますので、今年度被害があった場所では、ほ場外で適切に処分するようにしましょう。アブラナ科作物の連作を避けることも有効的です。

(2) 菌核病

菌核病は外葉（下葉）がしおれ、葉の軸を伝って株元までがやわらくなり、白いカビが発生します。2月以降になると結球部まで被害が進みますので、年内に防除を行いましょう。病原菌は菌核の形で土中に入り越冬しますので、被害株はできるだけ菌核を形成しないうちに適切に処分するようにしましょう。



黒腐病



菌核病 下葉・株元のカビ

(3) 薬剤防除 ※希釈倍数は登録のうち最大濃度を示している

● キャベツ 黒腐病・菌核病 防除薬剤

対象病害	FRACコード	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	備考
黒腐病	24+31	カセット水和剤	1000 倍	収穫 7 日前	3 回以内	予防・治療
	31+M1	ナレート水和剤	800 倍	収穫 14 日前	3 回以内	予防・治療
	M1	Z ボルドー	500 倍	—	—	予防
	24+M1	カスミンボルドー	1000 倍	収穫 7 日前	4 回以内	予防・治療
	U18	バリダシン液剤 5	800 倍	収穫 7 日前	5 回以内	予防・治療
菌核病	12	セイビアーフロアブル 20	1000 倍	収穫前日	3 回以内	予防
	2	ロブラール水和剤	1000 倍	収穫 7 日前	4 回以内	予防・治療
	11	ファンタジスタ顆粒水和剤	2000 倍	収穫 3 日前	3 回以内	予防・治療

サツマイモポット育苗と防除のポイント

メリクロン苗の導入は、いもの早期肥大や形状・皮色・貯蔵性の向上が期待できます。苗を効率的に増殖しサツマイモの品質向上に努めましょう。また、本年も1月中旬よりメリクロン苗の配布が始まります。まだご注文がお済みでない方はお近くのJAへ問い合わせ下さい。

ポット苗 育苗管理

1. 育苗床の準備

- (1) ポット苗の届く1か月前を目安に育苗床の準備を行いましょう。
- (2) 前年につる割れ病などが発生した育苗床は太陽熱消毒などの実施が望ましいです。(夏季)
- (3) 肥料は窒素・りん酸・加里を㎡当たり20～30g(成分量)入れましょう。
- (4) 窒素の半量は緩効性肥料を使いましょう。

2. 苗が届いたら..

育苗中になるべくイモの着生を抑える⇒苗の伸長が良くなる

- (1) 生育不良株がないかを確認しましょう。
- (2) 赤根を取り除き、直ちにポット苗を定植しましょう。
- (3) 定植後はたっぷりと灌水を行いましょう。

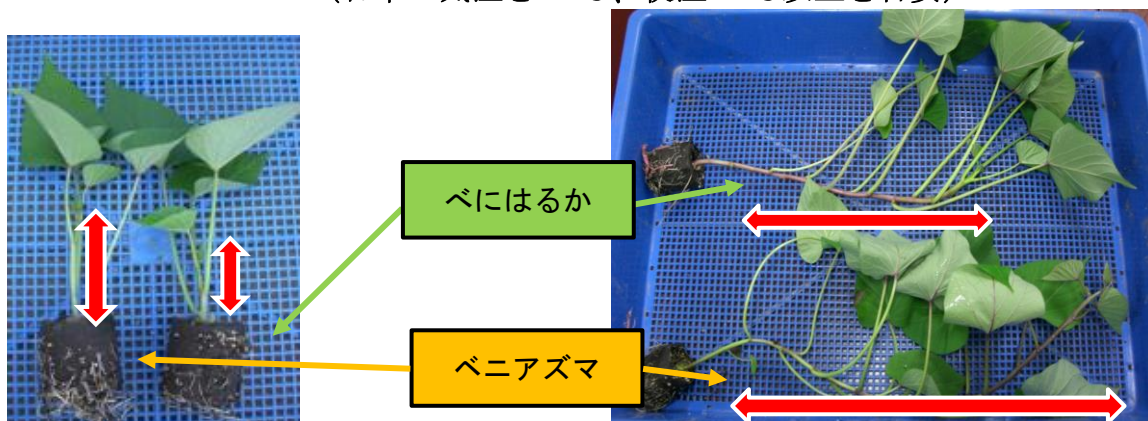
3. ポット苗定植後の管理

夕方の保温は早めに行い夜温の低下を防ぐ(午後3時頃を目安)

- (1) 活着まではしっかり保温、夜間は状況に応じて保温シートをトンネルの上にかかけましょう。
- (2) ハウス内の地温を25～30℃程度で維持しましょう。
- (3) ハウス内の気温は、日中25～30℃、夜間は最低15℃を維持しましょう。
- (4) 低温と土壌の乾燥は生育を停滞させ増殖率の低下を招きます(芋の着生など)。
→保温と灌水(1回の量を減らし回数増やす)をしっかりと行いましょう
- (5) 採苗後の追肥(㎡あたり窒素30gを目安)で草勢を維持することがポイントです。
また、晴天時はトンネル換気に注意し葉焼けを防止しましょう。

○べにはるか育苗の留意点

「べにはるか」は、「ベニアズマ」に比べ、苗の伸長が遅く節間が短いです。
→「ベニアズマ」の育苗よりも温度と湿度を高めに管理することが重要です！
(日中の気温を33℃、夜温20℃以上を目安)



病虫害防除

○防除を考えるときに注意すること

ハウスで発生している害虫は何？ハウスで初発生したのはいつ？どこで？
前年発生した場所・時期は特に注意して観察し、早めの防除を心掛けましょう

1 つる割れ病

育苗床から本圃への持ち込みには厳重注意！

土壌伝染性で苗の切り口や細根の傷口から侵入し、感染します。
 茎の地際部が縦に裂開してつる割れとなり、葉は紫褐色から黄変して落葉します。

(1) 防除薬剤

床土・堆肥：クロールピクリン剤※ 3～5ml/1穴 1回（処理後、被覆が必要）

※クロピク 80、ドロクロール、ドジョウピクリン等 使用回数は合わせて1回

苗：○ベンレート水和剤：500～1000倍/1回

・植付前 20～30分間苗浸漬 もしくは 挿苗時株元灌注（20～40ml/株）

○ベンレート T 水和剤 20：200倍/1回

・植付前 30分間苗浸漬

○トリフミン水和剤：500倍/1回

・植付前 17時間 苗基部浸漬（浸漬時間に注意してください。）

(2) 夏季の太陽熱消毒

梅雨明け頃から育苗ハウスの太陽熱消毒をすることで、つる割病、立枯れ病、ネコブセンチュウ等の防除効果があります。以下の手順で行いましょう。

ア．育苗終了後、株を抜き取り残渣等が無い状態にする。

イ．灌水チューブで一昼夜を目安に十分灌水した後、古ビニールやポリフィルムでハウス全面を被覆する。

ウ．20～40日間ハウスを密閉し、高温状態を維持する。

2 基腐病

基腐病対策の基本は、本圃に病原菌を「**持ち込まない**」ことです。苗からの持ち込みを防ぐため定期的な苗の更新、苗床消毒および苗の消毒による健全な生産を心がけましょう。

また、購入した苗の記録は保管しておきましょう。

(1) 収穫後の本圃の管理

収穫が完了した圃場はツルなどの残さをできるだけ持ち出し、収穫後は地温が高く、土壌水分があるうちに耕うんを行うことで、有機物の分解が促進されます。

(2) 種イモの管理方法¹⁾

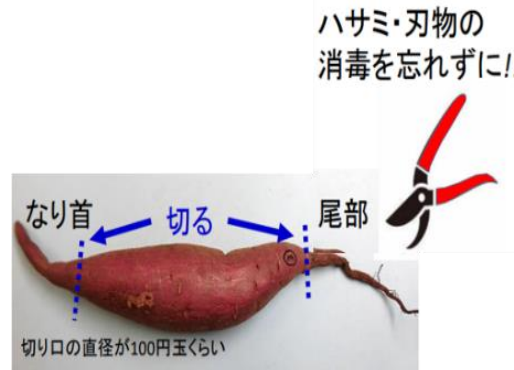
貯蔵前の処理として

収穫 ⇒ 水洗＋選別後、なり首・尾部²⁾切除、種イモ消毒＋乾燥³⁾ ⇒ 貯蔵 ⇒ 選別 ⇒ 苗床へ

という工程を踏むことで、貯蔵中の発病リスク軽減に繋がります。※1

- 1) 参考資料: 農研機構「サツマイモ基腐病の発生生態と防除対策(令和4年度版)」
- 2) 尾部の切除は乾腐病等による貯蔵腐敗の予防のため。
- 3) 黒斑病対策としてトップジン M 水和剤 200 倍液に 30 分浸漬(塊根切除後、速やかに実施)し、日陰に並べて表皮が乾いたことを必ず確認してから貯蔵する(ただし、10℃以下の低温にさらさないように注意する。

※1 種芋のなり首・尾部²⁾切除の際は、はさみや刃物の消毒を徹底しましょう。



3 アブラムシ類

- ・生育初期につるの先端に寄生し、ウイルス病を伝搬します。
- ・葉に寄生し、吸汁加害するため、生育が抑制されます。

○防除薬剤：アドマイヤー顆粒水和剤	10000 倍	収穫 7 日前まで/2 回以内
トレボン乳剤	1000 倍	収穫 7 日前まで/3 回以内
コルト顆粒水和剤	4000 倍	収穫前日まで/3 回以内

4 ハダニ類

- ・葉裏に寄生し、葉を吸汁加害して生育が抑制されます。葉表から吸汁箇所がかすり状に透けて見えます。

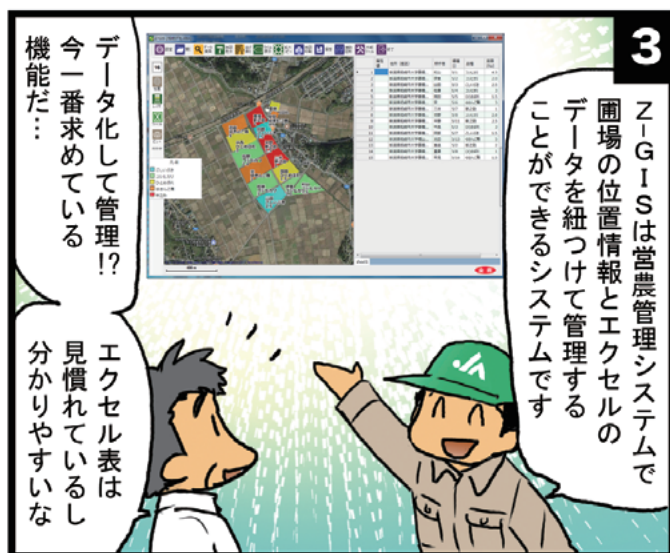
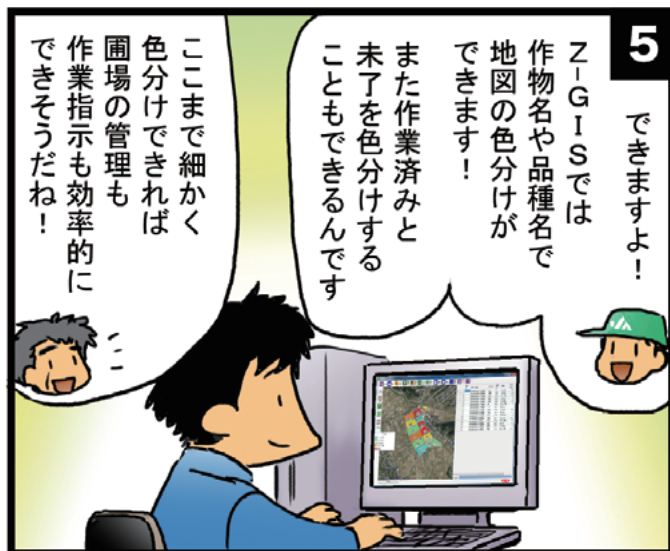
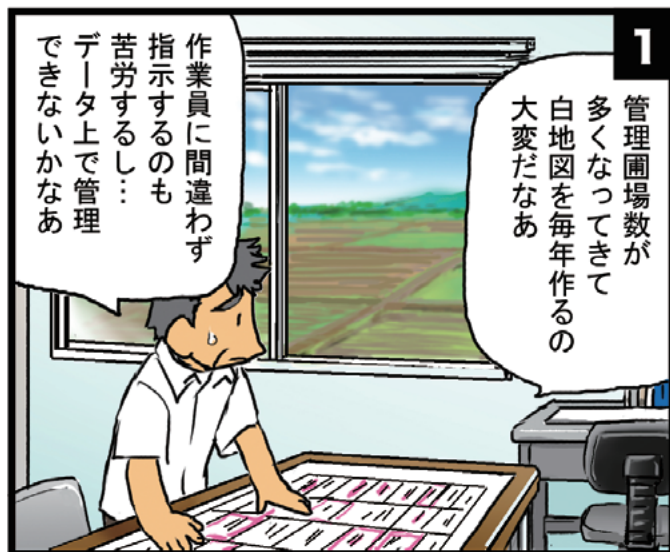
○防除薬剤：マイトコーネフロアブル	1000 倍	収穫 3 日前まで/1 回
コロマイト乳剤	1000 倍	収穫前日まで/2 回以内
コテツフロアブル	2000 倍	収穫前日まで/2 回以内

5 コナジラミ類

- ・成虫、幼虫が葉の裏面から吸汁して加害します。
- ・密度が高いと白化現象、退色、萎凋等が起こることがあり、すす病も併発します。

○防除薬剤：サンマイトフロアブル	1000～1500 倍	収穫前日まで/2 回以内
ベストガード水溶剤	1000 倍	育苗期/3 回以内
コルト顆粒水和剤	4000 倍	収穫前日まで/3 回以内

圃場管理ならお任せあれ！ スマートフォンに表示可能 営農管理の強い味方！Z-GISのご紹介★



●営農管理システム「Z-GIS」のお問い合わせは

一般社団法人 農協協会 Z-GIS管理部

JA全農 耕種総合対策部 スマート農業推進課

TEL.03-3639-1125

TEL.03-6271-8274



<https://z-gis.net/99/>

※Excel®は、Microsoft社の登録商標です。

今ならお得なチャンス！ はじめようスマート農業キャンペーン

日々の作業を
効率化しませんか？

2024年12月1日 ▶ 2025年 **3月31日**

営農情報を地図で可視化！

Z-GIS

全農 営農管理システム



入会者（新規のみ）

利用料

ご加入
から

4カ月目まで

無料

例：2月15日申込の場合、5月末までの利用料が無料

申込みは
Z-GISホームページ……▶
または専用申込書から



Z-GIS 初級者向け WEB講習会開催

12月から
毎月開催！
メールで
ご案内

キャンペーン期間中の入会者向けZ-GISの初級WEB講習会を開催

1月16日、1月23日、2月13日、2月20日 ※すべて16:00～1時間

Z-GIS 全農 営農管理システム でできること

1 管理項目別に色分けや抽出が可能！



2

管理項目を
地図上に表示！



3 1kmメッシュ気象情報を確認可能！



4

スマホからも
簡単入力可能！



利用料金は、100圃場ごと月額220円(税込) **費用を抑えて圃場管理が始められます！**

【お問合せ】 JA全農耕種総合対策部スマート農業推進課 TEL03-6271-8274 ✉ zz_zk_smart@zennoh.or.jp



JAグループ

全農